

## 日立の IP 電話システムがUFJニコス本社で全面稼働開始

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:篠本 学、以下 日立)の IP 電話システムが、UFJ ニコス株式会社(社長:大森 一廣、以下 UFJ ニコス)の本社に、オフィス在席者の電話取次ぎ業務負荷の軽減や TV 電話の活用などを目的に採用され、秋葉原 UDX ビルへの本社移転を契機に 3 月 30 日から全面稼働を開始します。具体的には、IP テレフォニーサーバとして「IPTOWER-SP TM2000」が 2 台、端末として主に利便性向上のために PHS が 250 台、従来の固定電話の操作性を踏襲するとともにアプリケーション連携が可能な IP 多機能電話機 750 台が稼働を開始します。

日立の IP テレフォニーソリューションは、主に以下の点を UFJ ニコスで高く評価され、今回の採用に至りました。

- (1) これまで PBX で実現してきたグループ着信や電話の転送など国内のオフィスで馴染みの深い機能を踏襲しつつ、個人のワークスタイルに応じて PHS や IP 多機能電話機など各種電話機を使い分けられること。
- (2) 各種電話機 (PHS、IP 多機能電話機) と連携可能なソフトフォン(\*1)を活用することにより、各種アプリケーションの共有化、PC から電子電話帳をクリックするだけでの電話発信、PtoP (ピアツーピア)(\*2)のテレビ電話やグループウェア連携機能などのアプリケーション連携が可能であること。
- (3) IP テレフォニーサーバの規模に応じたラインアップの豊富さ、現行機器のバックアップ機への流用が容易でありシステム拡張が柔軟であること、専用 OS、専用ハードウェアであるためウィルス感染には非常に強固な仕様であること。

\*1)ソフトフォン:PC にインストールすることにより電話機能や電話機との連携を実現します。

\*2) PtoP (ピアツーピア):クライアント同士で直接通信する形態のことを意味します。

UFJ ニコスは、今後、IP 電話システムを使用して、アプリケーション連携を利用することでコミュニケーションの活性化を図り、より創造性に富んだワーキングスタイルを実現し、将来の業務効率向上に向けた業務改革の促進をしていきます。日立は、今後もユーザーニーズにあわせた IP テレフォニーソリューションを開発し提供していきます。

### ■日立の IP テレフォニーソリューションについて

IP 電話などの通信システムとグループウェアなどの情報システムを融合することにより、企業におけるオフィスコミュニケーション環境の整備と業務の効率化や生産性向上を実現するソリューションとして 2004 年 6 月に発表した「CommuniMax (コミュニマックス)」のもと、日立では「IP 電話化ソリューション」「オフィスコラボレーションソリューション」「業種・業務向けソリューション」を提供してきました。

<http://www.hitachi.co.jp/ipt/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部  
CommuniMaxセンタ 【担当:秋葉】  
〒140-8573 東京都品川区南大井六丁目26番2号 大森ベルポートD館  
電話:03-5753-0176(ダイヤルイン)

以上

## ■「CommuniMax」のメニュー一覧

メニュー	概要	価格
<b>IP 電話化ソリューション</b>		
ユビキタスコミュニケーションソリューション	無線 IP 情報端末を利用し、いつでも、どこでも各種コミュニケーションを図ることを実現可能とする	個別見積
セキュリティPC連携ソリューション	セキュリティPCにソフトフォンを導入することにより、情報漏洩を防止しつつ利便性の向上を実現可能とする	個別見積
<b>業種／業務向けソリューション</b>		
ワイヤレスブラウジングソリューション	ホテル、病院、工場などの現場で、利用場所を意識せずデータベース検索や業務連絡の送受信などを可能にする	個別見積
IP コンタクトセンタソリューション	ロケーションに依存しない分散コンタクトセンタ実現によるTCO 削減を行う	
<b>オフィスコラボレーションソリューション</b>		
TV 会議ソリューション	移動コストや時間の削減、即時会議開催により意思決定のスピードアップを図る	個別見積
ユニファイドメッセージソリューション	オフィスの各種コミュニケーション（音声、FAX、メール）を融合し、新しいコミュニケーション環境の提供を図る。	個別見積
グループウェア連携ソリューション	グループウェア（Groupmax Collaboration）と IP 電話の連携でオフィスの業務効率化を実現し知的生産性向上を図る	個別見積

※「CommuniMax」には、IP-PBX、IP テレフォニーサーバなどの IP テレフォニー関連機器、ルータ、スイッチなどの IP ネットワーク機器、無線基地局などのネットワーク設備、PC、PDA、IP 電話機などの端末およびグループウェア、業務システム連携のためのミドルウェア、システム運用管理ソフトウェアなどが含まれます。

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---